

3 スマート農業における今後の展開と対応について

今回の調査から浮かび上がった課題

◎導入前の農業者は、ICT 機器に対するイメージがつきにくく、購入の際に機器の選択に苦労していた。

➡「これから導入する農業者に向けた情報を充実させ、発信が必要」

◎導入からしばらく経った農業者でも「設定、操作方法」「補正情報の受信等」などを中心に解決できていないことが多くあった。

➡「導入後の農業者へのフォロー(導入効果の確認、優良事例の提供等)が必要」



地域の解決すべき課題に対して！！



普及センターは関係機関と連携し、地域の課題を解決していきます。



北海道では、令和3年8月に全道 44 箇所の農業改良普及センター本所・支所に「スマート農業相談窓口」を設置しています。

➡ 栽培管理技術の観点から農業者等のスマート農業に関する相談に応じていきます！



コラム

◎スマート農業とは？

ロボット技術や ICT 等の先端技術を活用し、超省力化や高品質生産等を可能にする新たな農業のこと。

- ①超省力・大規模生産を実現
自動走行トラクタ等の農業機械の自動走行の実現により、規模限界を打破
- ②作物の能力を最大限に発揮
センシング技術や過去のデータを活用したきめ細やかな栽培（精密農業）により、従来にない多収・高品質生産を実現
- ③きつい作業、危険な作業から解放
収穫物の積み下ろし等、重労働をアシストスーツにより軽労化、負担の大きな畦畔等の除草作業を自動化
- ④誰もが取り組みやすい農業を実現
農機の運転アシスト装置、栽培ノウハウのデータ化等により、経験の少ない労働力でも対処可能な環境を実現
- ⑤消費者・実需者に安心と信頼を提供
生産情報のクラウドシステム提供等により、産地と消費者・実需者を直結





聞いてみた！ @オホーツク



ICT導入農家333人の声



本資料は管内農業者を対象に実施した「スマート農業機器（耕種）等の導入・活用に関するアンケート」等から導入者の経験談※をまとめたものです。調査結果の詳細は右下のQRコードをご参照ください。
（令和4年3月網走農業改良普及センター課題解決チーム発刊）

※アンケート調査した機器のうち、「今後さらに導入が進むと予想される機器」「使用にあたり、農業者の声が多かった機器」における経験談について掲載した。

